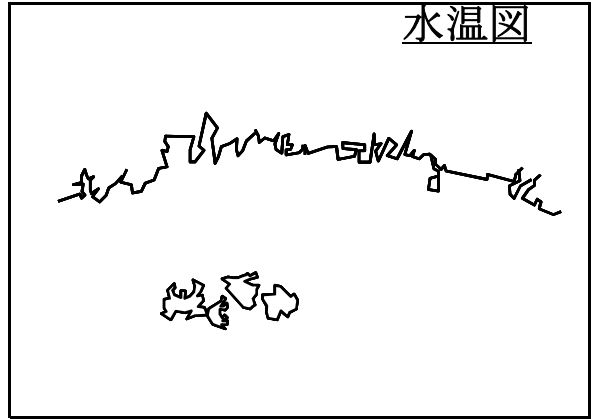


兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 9号)

平成30年 1月 5日発行
 兵庫のみ研究所

珪藻が多く発生していたこともあり、地先漁場においては栄養塩が低い状況となっています。沖合漁場では窒素は概ね4~5 $\mu\text{g at / L}$ 台で、平年よりやや高い値を示していますが、前回(12/27)調査と比較し漸減傾向にあります。

(**栄養塩、珪藻**) まとまった降雨等による栄養塩の供給がなく、珪藻が多く発生し続けていたこともあり、地先漁場では栄養塩が大きく低下している。珪藻は色素が薄く(活力が低い)、発生量自体も減少している。沖合漁場においては今のところ問題となる発生量ではないが、肉眼視(淡黄色の綿埃状)されるキートセロスの一種が前回調査と比較しやや増加している。近隣海域(岡山・香川)の栄養塩が大きく低下しており、この影響による今後の栄養塩動向には注意が必要です。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	3.0	1.1	2.3	6.6
	リン	0.43	0.28	0.36	0.69
家島・坊勢	窒素	6.2	4.6	3.8	5.4
	リン	0.69	0.58	0.54	0.66

(12/27) (1/6)

栄養塩 (窒素) 図

平成30年 1月 5日調査

